

41. 佐賀県



4 1 佐賀県

A. 医療提供体制の現状

佐賀県の特徴は、(1) 病床、特に療養や精神病床が多い、(2) 佐賀が中心だが、南部(嬉野)も医療拠点である。

(1) 病床、特に療養や精神病床が多い

全県を通しての偏差値が病床数(61)、一般病床(52)、病院勤務医(54)、全身麻酔数(53)、看護師数(63)と、病床と看護師は多く、一般病床、病院勤務医、全身麻酔件数は、全国平均をやや上回るレベルである。全県的に療養病床や精神病棟が充実している。

(2) 佐賀が中心だが、南部(嬉野)にも医療拠点

医学部のある佐賀市に33%の人口が集中するが、病院勤務医58%、全身麻酔57%、看護師42%の集中であり、佐賀への集中傾向が見られる。他の医療圏の病院勤務医の偏差値は、東部(41)、北部(48)、西部(42)は、全国平均を下回り、全身麻酔数も少ない。南部には嬉野医療センターがあり、病院勤務医(51)、全身麻酔数(58)、看護師数(69)と、佐賀県の南部の医療拠点として機能している。西部(伊万里、有田)は南部に、東部(鳥栖)は久留米の医療機関へ依存する傾向があるが、それぞれの地域に拠点病院があり、全体のバランスは取れている。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(中部)

佐賀大学のある中部(佐賀)の偏差値は、病床数(59)、一般病床(57)、病院勤務医(64)、全身麻酔数(60)、看護師数(63)と、非常に充実した医療が提供されており、南部をはじめ、佐賀県全域から入院患者が集まってくる。2010→35年の佐賀県全体の総医療需要が3%増、0-64歳の医療需要が27%減、中部の総医療需要が5%増、0-64歳の医療需要が25%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後急速に強まっていく可能性が高い。医師養成数の適正化や、高機能病床のダウンサイジングの検討が必要になってくる可能性が高い。また、中部の75歳以上医療需要の42%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換すること、高齢者向けの施設・住宅の増強が必要である。

(東部)

東部(鳥栖)は、福岡県との結びつきが強い地域であり、療養病床と回復期と精神病床が

多い。その結果、病床と看護師が多く、病院勤務医と全身麻酔数が少なくなり、偏差値は、病床数（66）、一般病床が（46）、病院勤務医（41）、全身麻酔数（43）、看護師数（60）である。2010→35年の総医療需要が17%増、0-64歳の医療需要が17%減、75歳以上70%増を考えると、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換し、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

（北部）

北部（唐津）には、地域の基幹病院として唐津赤十字病院や済生会唐津病院があり、自立性の比較的高い医療圏である。偏差値は、病床数（56）、一般病床が（47）、病院勤務医（48）、全身麻酔数（46）、看護師（60）で、比較的高いレベルの医療資源レベルである。2010→35年の総医療需要が2%減、0-64歳の医療需要が31%減、75歳以上29%増を考えると、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換が求められる。

（西部）

西部（伊万里）の偏差値は、病床数（61）、一般病床が（46）、病院勤務医（42）、全身麻酔数（33）、看護師（64）で、病床数と看護師数が多く、病院勤務医と全身麻酔数が少ない。この地域は、療養病床、回復期病床、精神病床が多い反面、急性期医療の南部（嬉野）への依存度が高い。2010→35年の総医療需要が4%減、0-64歳の医療需要が32%減、75歳以上27%増を考えると、病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換が求められる。

（南部）

南部（嬉野）には、嬉野医療センターがあり、佐賀県第2の医療の拠点地域である。偏差値は、病床数（67）、一般病床が（53）、病院勤務医（51）、全身麻酔数（58）、看護師数（69）で、地方都市としては非常に充実した医療資源である。また、この地域には、療養病床、回復期病床、精神病床も多い。2010→35年の総医療需要が5%減、0-64歳の医療需要が35%減、75歳以上22%増を考えると、急性期病床を中心とした、地域全体の病床削減を検討する必要があるだろう。

表 41-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
佐賀県	849,788	42位	2,440	42位	348.3		24%	-16%	37%
中部	353,347	42%	793	33%	445.5	地方都市型	23%	-14%	42%
東部	122,310	14%	159	6%	771.5	地方都市型	22%	-6%	70%
北部	133,305	16%	523	21%	254.6	地方都市型	26%	-20%	29%
西部	78,090	9%	321	13%	243.4	地方都市型	26%	-22%	27%
南部	162,736	19%	644	26%	252.8	地方都市型	27%	-23%	22%

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表41-1、表41-2、表41-5、図41-4)

図 41-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）

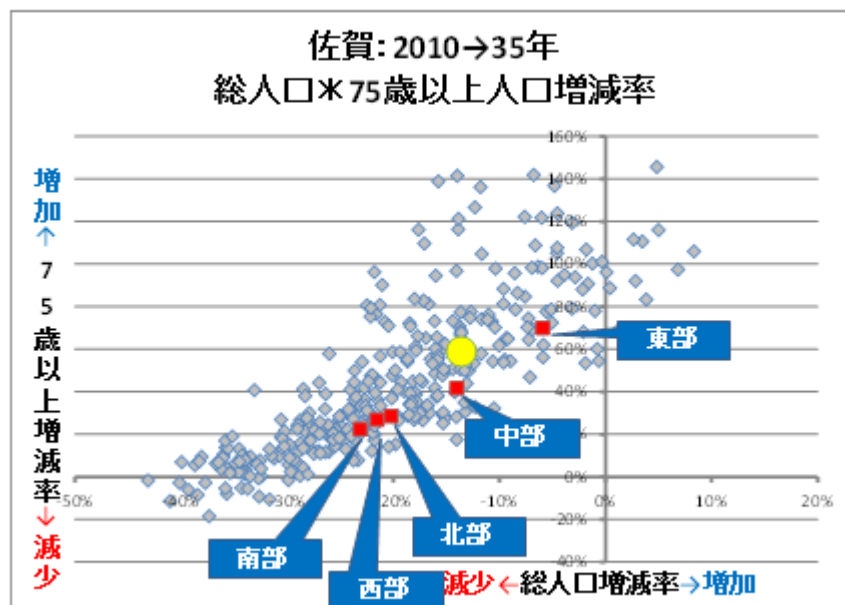


表 41-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
佐賀県	15,899	1.0%	1,871	61	6,479	0.7%	762	52	11,774	0.9%	104	54
中部	6,178	39%	1,748	59	3,142	48%	889	57	4,414	37%	101	53
東部	2,554	16%	2,088	66	750	12%	613	46	1,842	16%	138	71
北部	2,166	14%	1,625	56	848	13%	636	47	2,094	18%	110	57
西部	1,471	9%	1,884	61	475	7%	608	46	1,060	9%	94	49
南部	3,530	22%	2,169	67	1,264	20%	777	53	2,364	20%	92	48

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 41-2 病床数（人口10万当たり）、総高齢者ベッド数（75歳以上1,000人当たり）

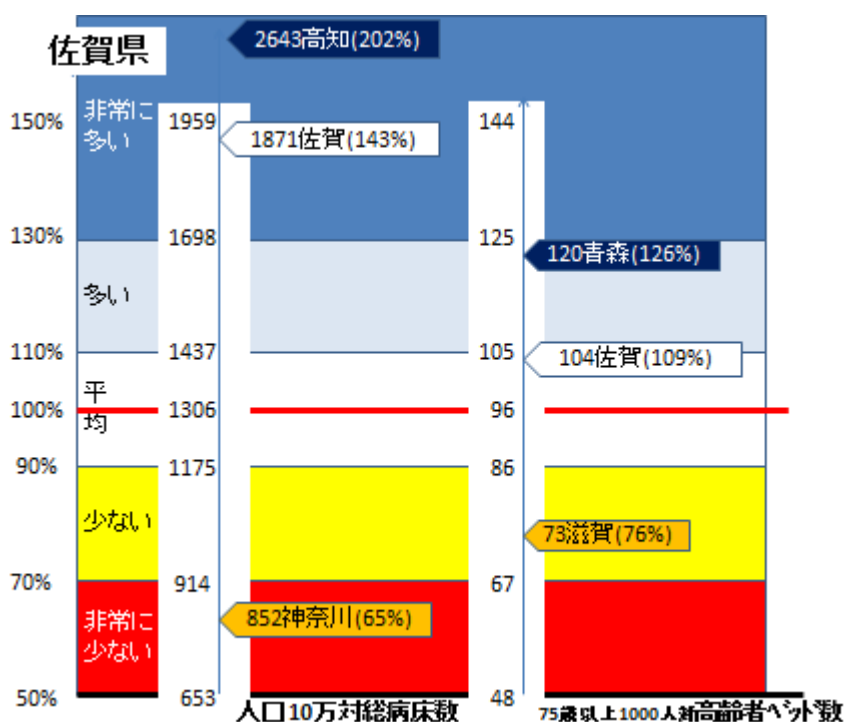


表 41-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
佐賀県	4,542	1.4%	534	63	579	0.9%	68	55	4,227	1.2%	497	61
中部	1,341	30%	380	56	207	36%	59	52	1,482	35%	419	57
東部	852	19%	697	71	120	21%	98	61	778	18%	636	67
北部	603	13%	452	59	37	6%	28	45	674	16%	506	61
西部	562	12%	720	72	90	16%	115	65	340	8%	435	58
南部	1,184	26%	728	72	125	22%	77	56	953	23%	586	65

表 41-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
佐賀県	2	1.0%	2.4	53	4	1.1%	4.7	55	1,103	1.3%	130	66
中部	2	100%	5.7	67	2	50%	5.7	58	404	37%	114	62
東部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	224	20%	183	80
北部	0	0%	0	43	1	25%	7.5	63	131	12%	98	58
西部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	104	9%	134	67
南部	0	0%	0	43	1	25%	6.1	59	240	22%	147	71

表 41-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
佐賀県	1,201	0.8%	141	54	8,136	1.0%	957	63	13,612	0.8%	1,602	53
中部	693	58%	196	64	3,377	42%	956	63	7,750	57%	2,193	60
東部	91	8%	74	41	1,086	13%	888	60	1,054	8%	862	43
北部	146	12%	110	48	1,162	14%	872	60	1,448	11%	1,086	46
西部	61	5%	78	42	750	9%	961	64	6	0%	8	33
南部	210	17%	129	51	1,760	22%	1,082	69	3,354	25%	2,061	58

図 41-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

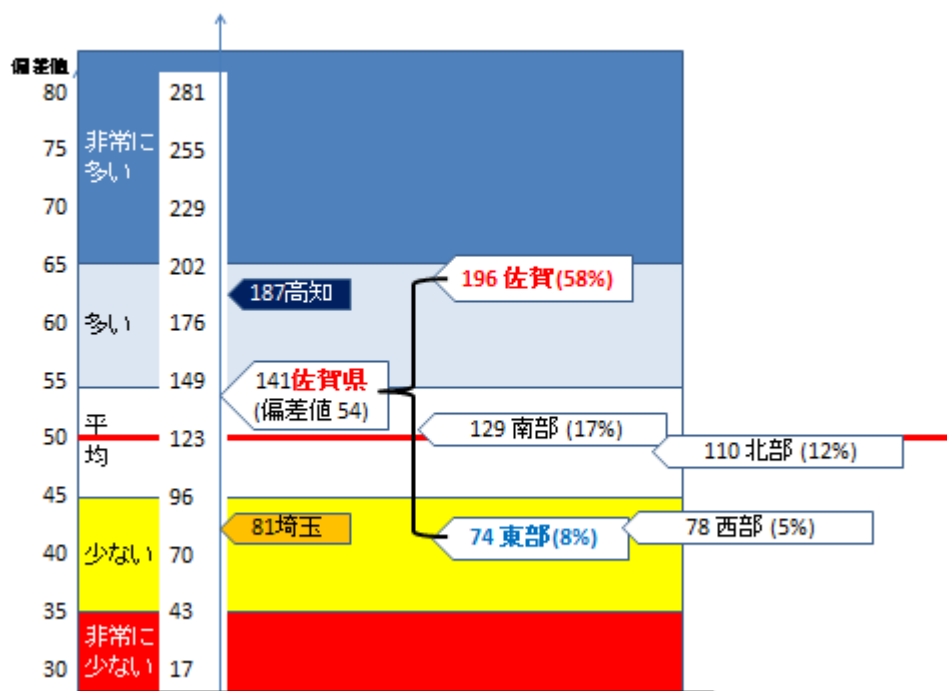


図 41-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

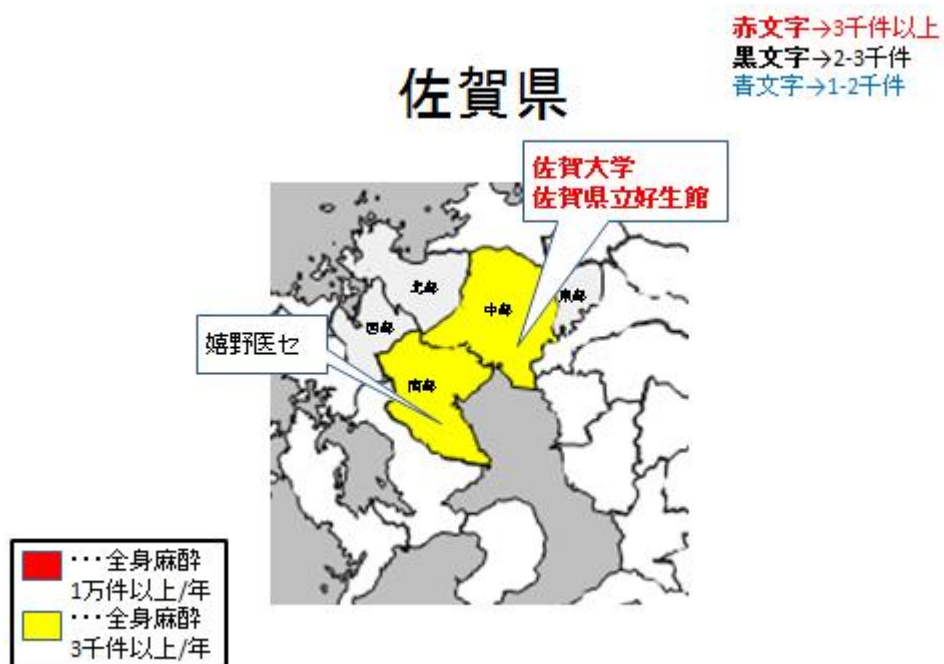
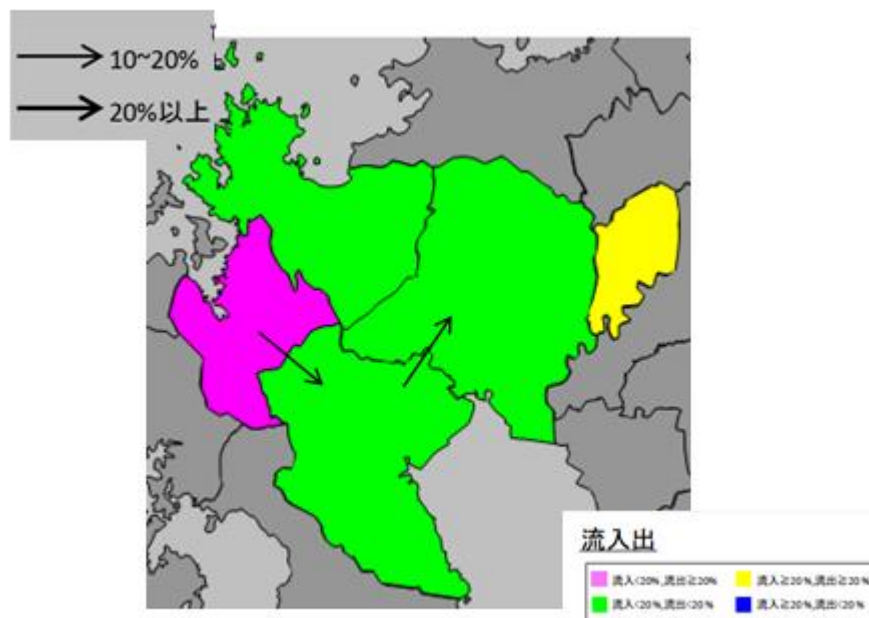


図 41-5 二次医療圏（流入出）



厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3
(図 4 1 - 5)

表 41-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
佐賀県	6,193	0.9%	55	54	2,873	0.9%	25	56	3,320	0.8%	29	51
中部	2,444	39%	56	55	1,253	44%	29	62	1,191	36%	27	49
東部	694	11%	52	52	240	8%	18	43	454	14%	34	56
北部	1,058	17%	56	55	440	15%	23	52	618	19%	32	54
西部	550	9%	49	49	240	8%	21	49	310	9%	27	49
南部	1,447	23%	57	56	700	24%	27	60	747	23%	29	51

表 41-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
佐賀県	5,581	0.9%	49	52	1,508	0.6%	13.3	47	1,968	1.3%	17.4	60
中部	1,970	35%	45	50	526	35%	12.0	46	678	34%	15.5	57
東部	1,148	21%	86	72	279	19%	20.9	54	495	25%	37.0	93
北部	1,036	19%	54	55	379	25%	19.9	53	286	15%	15.0	56
西部	510	9%	45	50	120	8%	10.6	44	180	9%	16.0	58
南部	917	16%	36	45	204	14%	8.0	42	329	17%	12.9	53

表 41-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
佐賀県		3%	-27%	-7%	-20%	37%	32%
中部	2	5%	-25%	-2%	-17%	42%	36%
東部	2	17%	-17%	0%	-12%	70%	60%
北部	2	-2%	-31%	-13%	-25%	29%	24%
西部	2	-4%	-32%	-16%	-26%	27%	22%
南部	2	-5%	-35%	-12%	-27%	22%	19%

図 41-6 佐賀県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

